

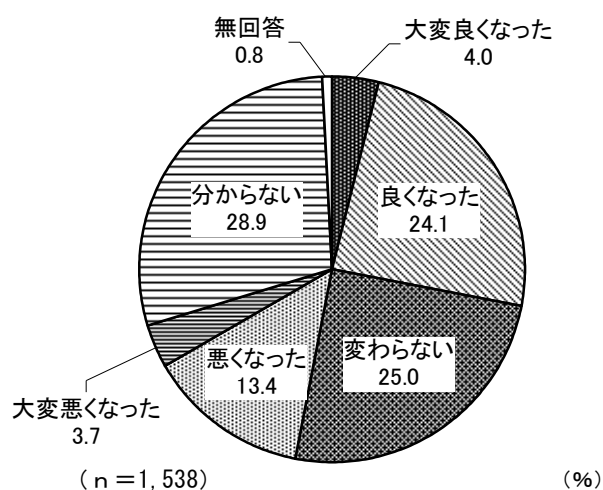
4 安全・防災

(1) 本厚木駅周辺の治安 (B：問5)

問. 本厚木駅周辺の治安について、過去と比べてどのように感じますか。

(1つだけ選んでください)

図4-1-1 本厚木駅周辺の治安



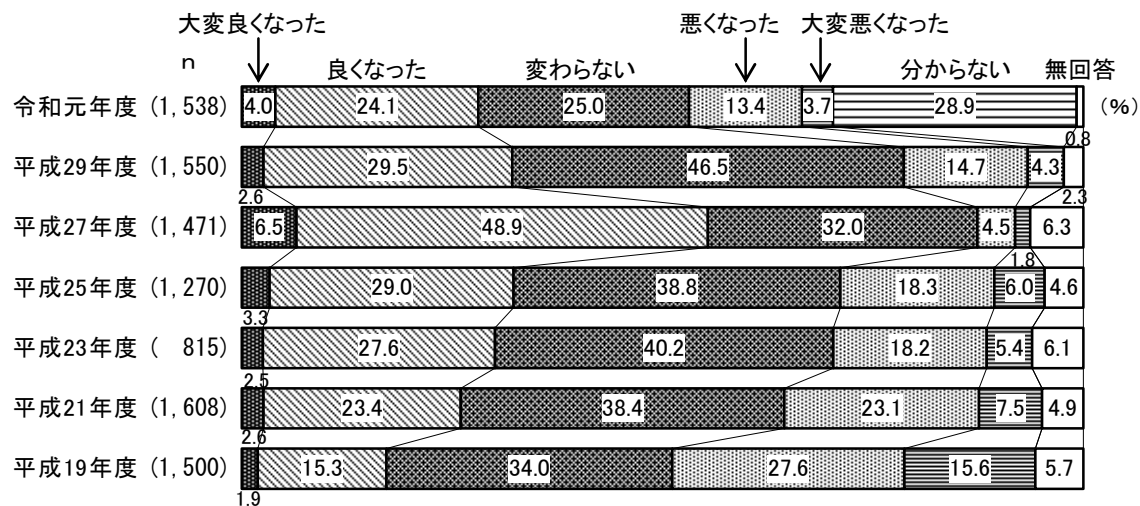
【全体】

本厚木駅周辺の治安について聞いたところ、「大変良くなった」(4.0%)と「良くなった」(24.1%)の2つを合わせた『改善した』(28.1%)が3割近くとなっている。「変わらない」(25.0%)は2割半ばで、「悪くなった」(13.4%)と「大変悪くなった」(3.7%)の2つを合わせた『悪化した』(17.1%)は1割半ばを超えている。

【経年変化】

今回の調査で、「分からない」の選択肢を追加したことから、「大変良くなった」を除くすべての選択肢でポイントが減少した。特に「変わらない」(25.0%)は平成29年度調査(46.5%)より21.5ポイント減少している。

図4-1-2 本厚木駅周辺の治安—経年変化



(注1) 今回調査では、「分からない」の選択肢を追加している。

(注2) 平成29年度調査および平成25年度以前の調査では、「現在の本厚木駅周辺の治安について、どのように感じますか。(1つだけ選んでください)」と質問していた。

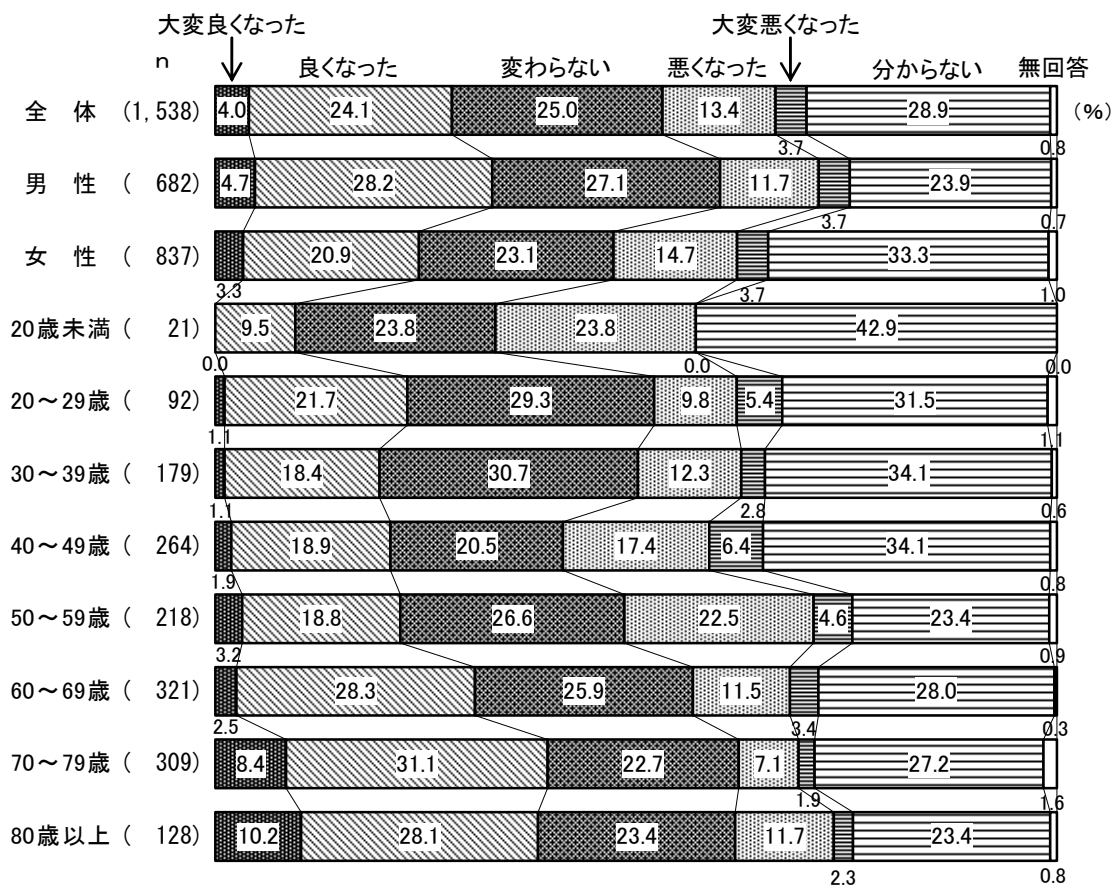
(注3) 平成27年度調査では、「本厚木駅周辺の体感治安の向上を図るため客引き行為等防止条例を制定し、客引き行為等指導員による指導や防犯パトロールに努めております。現在の本厚木駅周辺の治安について、どう思いますか。(1つだけ選んでください)」と質問していた。

【属性別】

性別で見ると、男性では『改善した』（32.9%）が女性（24.2%）より8.7ポイント高くなっている。一方、女性では「分からない」（33.3%）が男性（23.9%）より9.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『改善した』は70～79歳（39.5%）が約4割、80歳以上（38.3%）が4割近くと高くなっている。『悪化した』は50～59歳（27.1%）が2割半ばを超え、40～49歳（23.8%）が2割半ば近くと高くなっている。

図4－1－3 本厚木駅周辺の治安－性別、年齢別

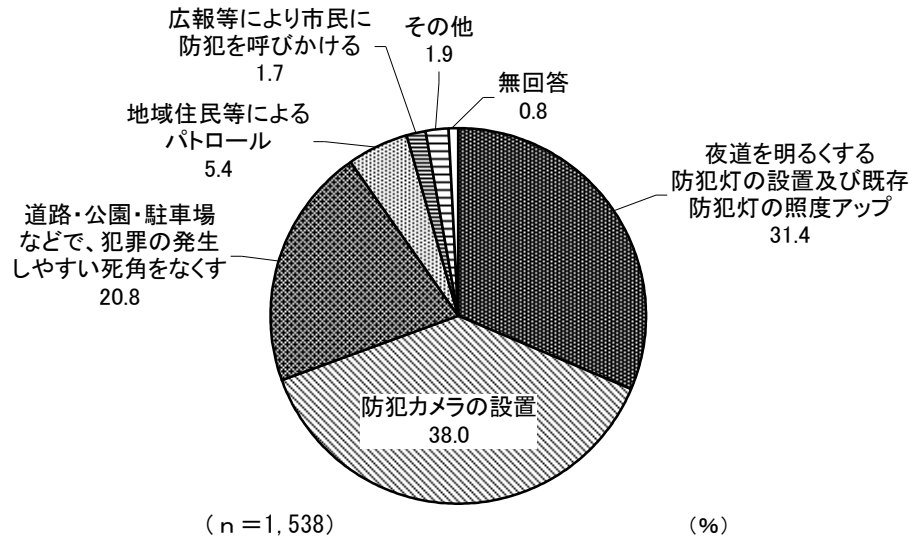


（２）防犯対策に効果的な取組（Ｂ：問６）

問．防犯対策について、どのような取組が効果的だと思いますか。

（１つだけ選んでください）

図４－２－１ 防犯対策に効果的な取組



【全体】

防犯対策に効果的な取組について聞いたところ、「防犯カメラの設置」（38.0％）が４割近くで最も高く、次いで「夜道を明るくする防犯灯の設置及び既存防犯灯の照度アップ」（31.4％）、「道路・公園・駐車場などで、犯罪の発生しやすい死角をなくす」（20.8％）、「地域住民等によるパトロール」（5.4％）となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「防犯カメラの設置」(38.0%)は平成29年度調査(33.4%)より4.6ポイント増加している。

表4－2－1 防犯対策に効果的な取組－経年変化

(%)

調 査 年	n	灯の照度アップ 夜の設置 道路を明るくする 防犯灯の設置	防犯カメラの設置	すいど、死角をなくす 道路、公園・駐車場など	ロ―地域住民等によるパトロール	犯を呼びかける 広報等により市民に防	その他	無回答
令和元年度	1,538	31.4	38.0	20.8	5.4	1.7	1.9	0.8
平成29年度	1,550	31.6	33.4	22.4	7.2	1.5	3.1	0.8
平成27年度	1,471	41.7	－	36.8	14.3	2.0	3.5	1.6
平成25年度	1,270	41.9	－	39.1	10.9	2.0	3.8	2.3
平成23年度	815	70.7	－	60.0	38.7	15.7	6.1	2.2
平成21年度	1,608	72.7	－	76.2	39.6	21.0	5.8	2.2
平成19年度	1,500	67.1	－	77.3	40.3	22.3	9.1	2.5

(注1) 平成29年度調査以降では、「防犯カメラの設置」の選択肢を追加している。

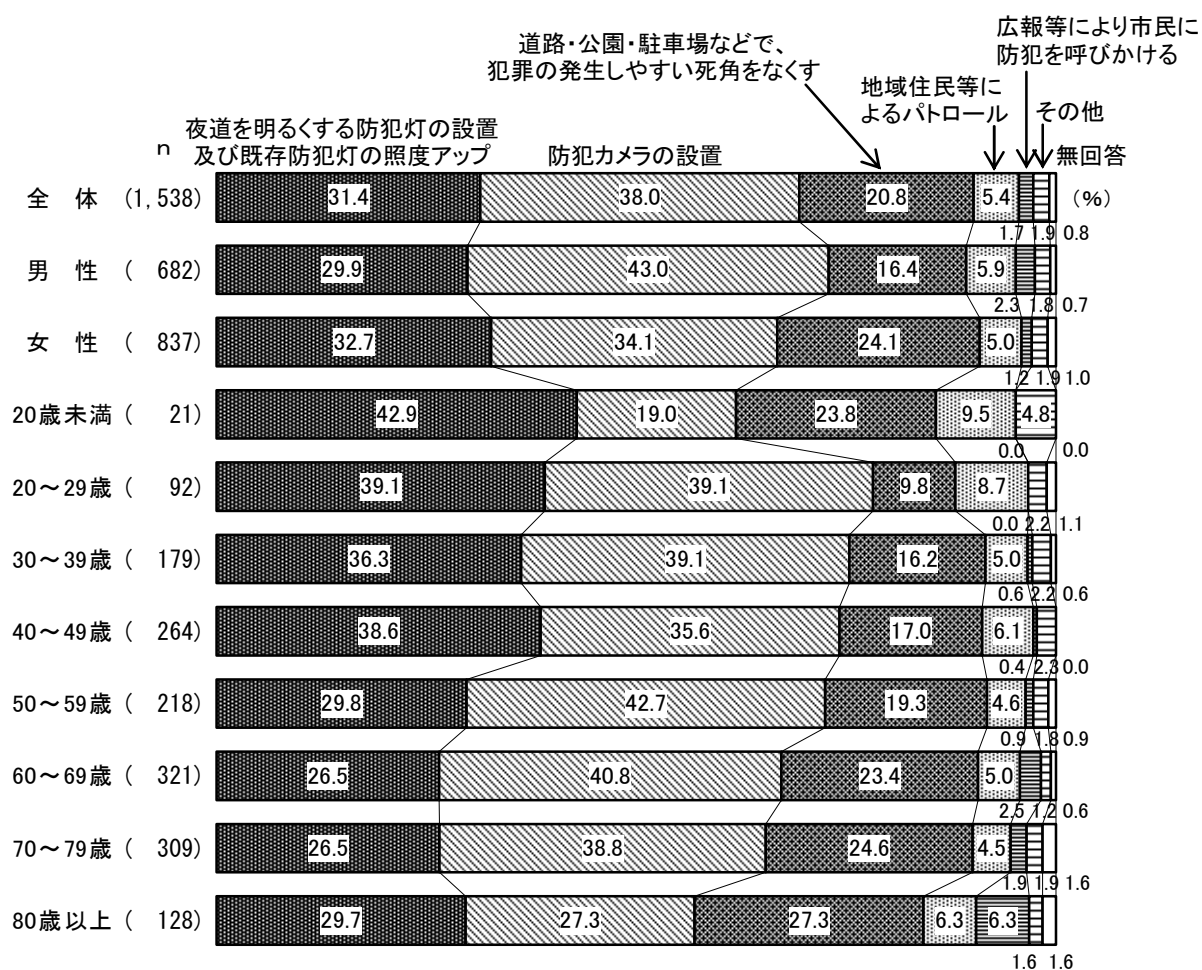
(注2) 平成23年度調査以前では、複数回答で質問していた。

【属性別】

性別で見ると、男性では「防犯カメラの設置」（43.0％）が女性（34.1％）より8.9ポイント高くなっている。一方、女性では「道路・公園・駐車場などで、犯罪の発生しやすい死角をなくす」（24.1％）が男性（16.4％）より7.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「夜道を明るくする防犯灯の設置及び既存防犯灯の照度アップ」は20歳未満（42.9％）が4割半ば近くと高くなっている。「防犯カメラの設置」は50～59歳（42.7％）が4割半ば近くと高くなっている。「道路・公園・駐車場などで、犯罪の発生しやすい死角をなくす」は80歳以上（27.3％）が2割半ばを超えて高くなっている。

図4－2－2 防犯対策に効果的な取組－性別、年齢別

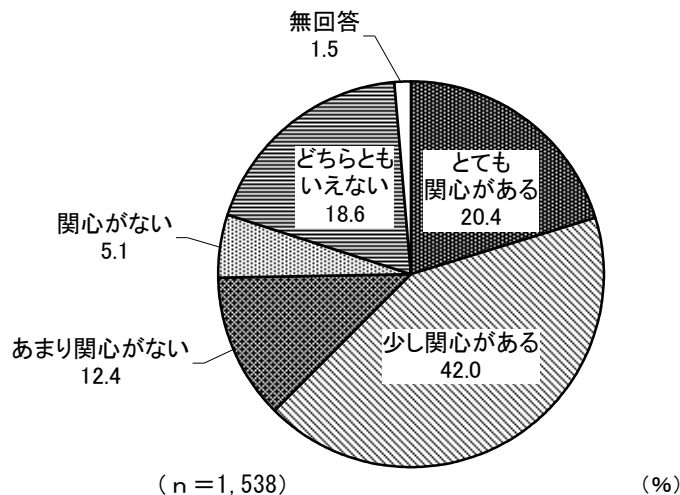


(3) セーフコミュニティの考え方 (B: 問7)

問. 市民協働による交通安全や防犯、けがの予防など、セーフコミュニティの手法を用いて安心・安全なまちづくりを推進するという考え方に、関心がありますか。

(1つだけ選んでください)

図4-3-1 セーフコミュニティの考え方



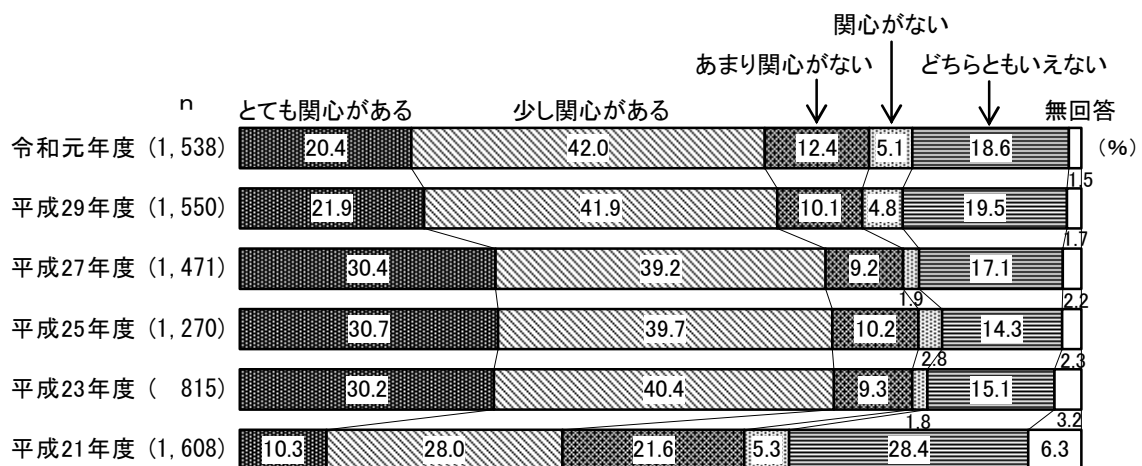
【全体】

セーフコミュニティの考え方に関心があるかについて聞いたところ、「とても関心がある」(20.4%)と「少し関心がある」(42.0%)の2つを合わせた『関心あり』(62.4%)が6割を超えて高くなっている。「どちらともいえない」(18.6%)は2割近くで、「あまり関心がない」(12.4%)と「関心がない」(5.1%)の2つを合わせた『関心なし』(17.5%)は2割近くとなっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、平成29年度調査と比べて大きな差異は見られない。

図4-3-2 セーフコミュニティの考え方—経年変化



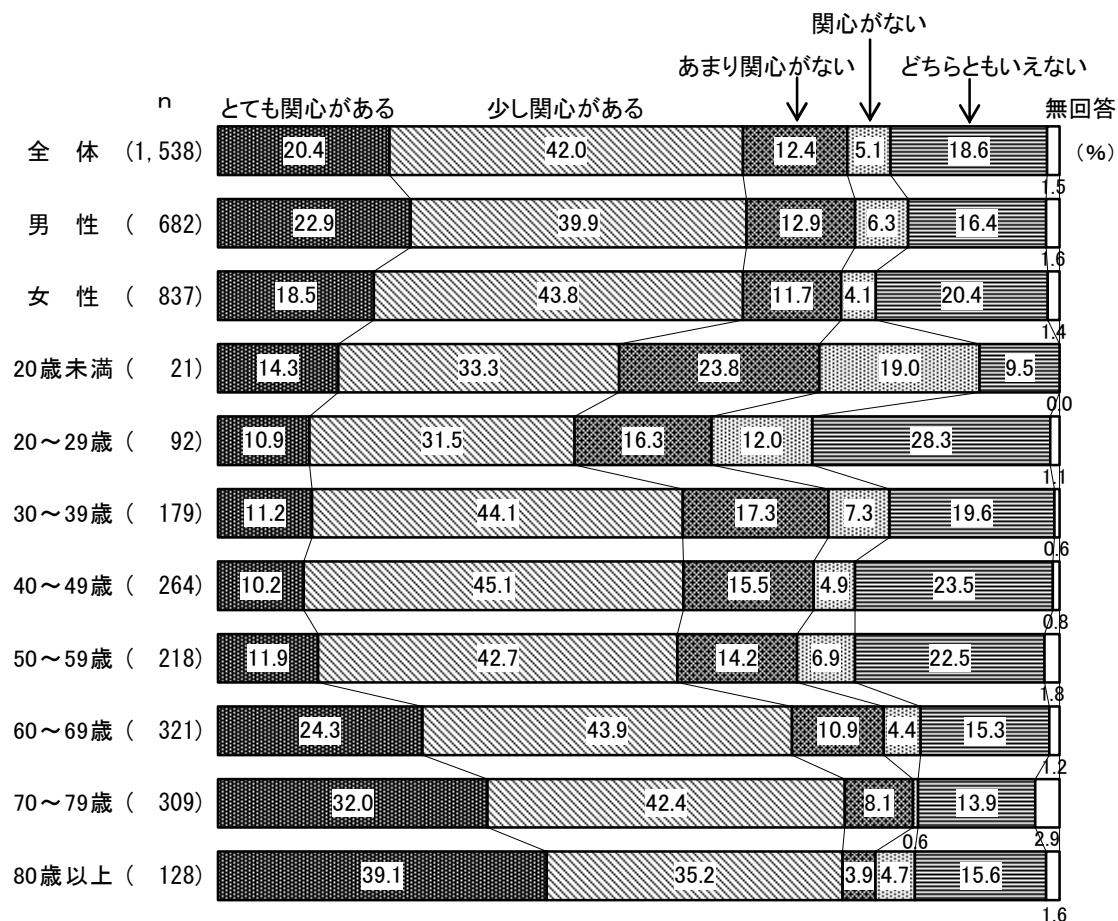
(注) 平成27年度調査～平成23年度調査では、「厚木市は、平成22年11月19日にWHOが推進しているセーフコミュニティの認証を取得しました。今後も、市民と行政が協働して交通安全や防犯、けがの予防など、安心・安全なまちづくりを推進するという考え方に関心がありますか。」と質問していた。

【属性別】

性別で見ると、男性では『関心なし』（19.2%）が女性（15.8%）より3.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『関心あり』は70～79歳（74.4%）と80歳以上（74.3%）が7割半ばと高くなっている。『関心なし』は20歳未満（42.8%）が4割半ば近く、20～29歳（28.3%）が3割近くと高くなっている。

図4-3-3 セーフコミュニティの考え方ー性別、年齢別

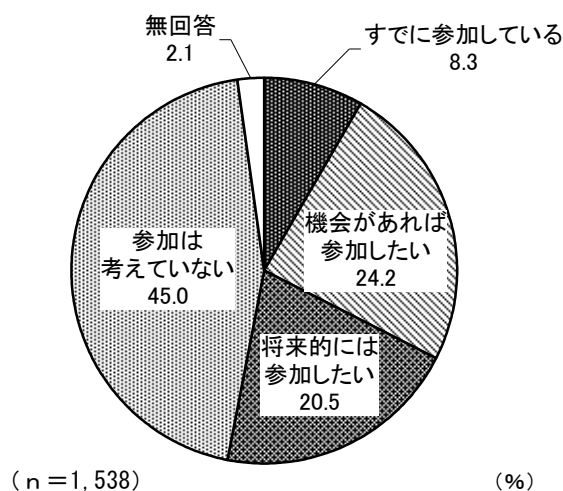


(4) 地域の防犯活動への参加（B：問8）

問. 安心・安全なまちづくりの一環として、地域で実施している「防犯パトロール」や「児童・生徒の登下校時の見守り活動（愛の目運動）」などの活動に参加したいと思いますか。

（1つだけ選んでください）

図4-4-1 地域の防犯活動への参加



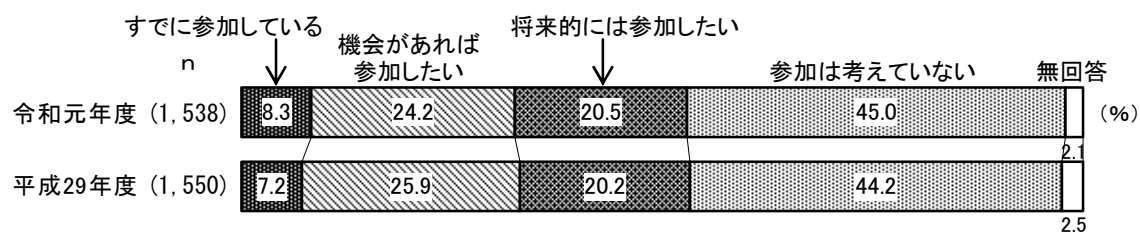
【全体】

地域の防犯活動への参加について聞いたところ、「すでに参加している」（8.3％）は1割未満となっている。「機会があれば参加したい」（24.2％）は2割半ばで、「将来的には参加したい」（20.5％）は約2割、「参加は考えていない」（45.0％）は4割半ばとなっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、平成29年度調査と比べて大きな差異は見られない。

図4-4-2 地域の防犯活動への参加一経年変化

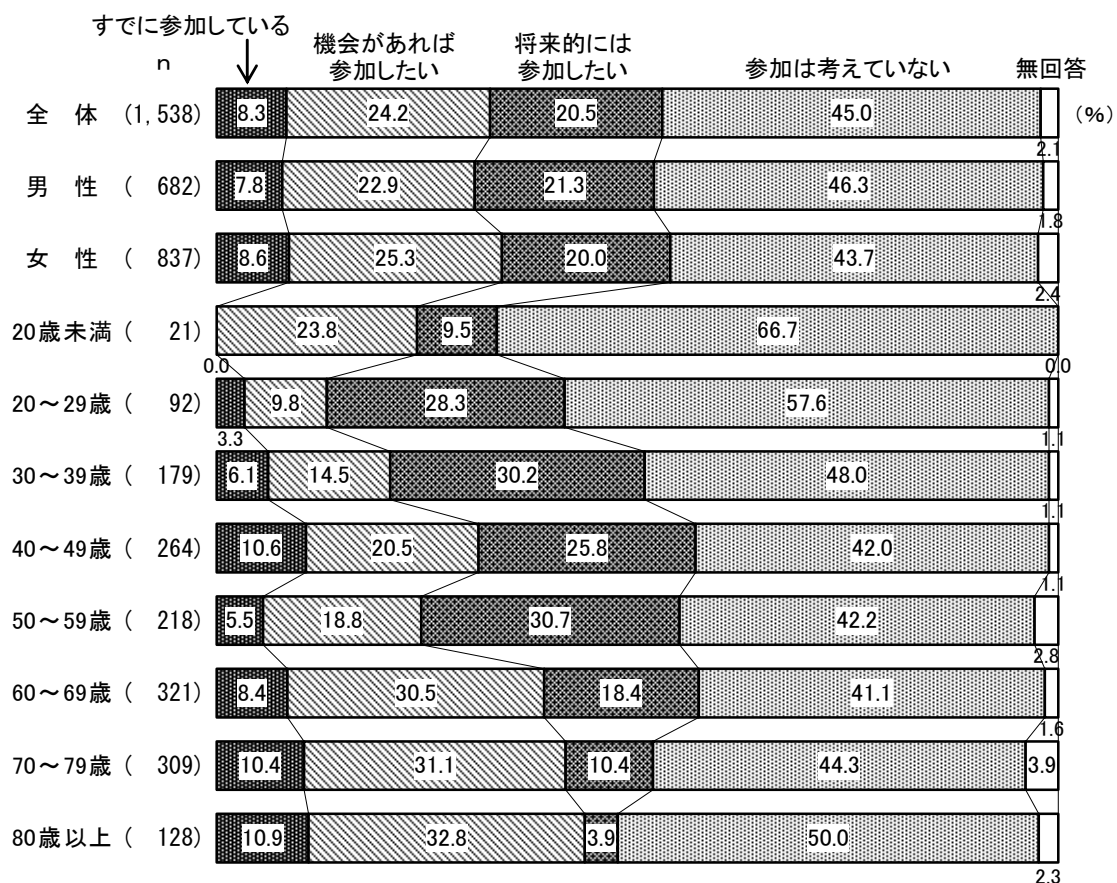


【属性別】

性別で見ると、大きな差異は見られない。

年齢別で見ると、「機会があれば参加したい」は60～69歳以上の年代が3割台と高くなっている。「将来的には参加したい」は30～39歳（30.2%）と50～59歳（30.7%）が約3割と高くなっている。

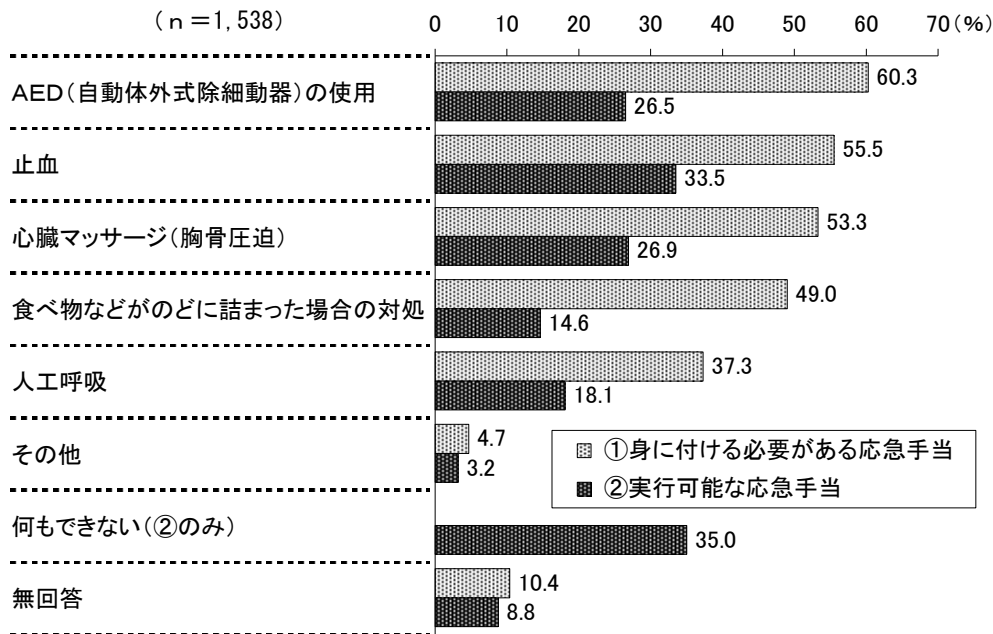
図4-4-3 地域の防犯活動への参加—性別、年齢別



(5) 身に付ける必要がある応急手当・実行可能な応急手当（B：問9）

問. いざという時のために、どのような応急手当を身に付ける必要があると思いますか。また、どのような応急手当ができますか。（①～②について、いくつでも選んでください）

図4-5-1 ①身に付ける必要がある応急手当②実行可能な応急手当



【全体】

①身に付ける必要がある応急手当について聞いたところ、「AED（自動体外式除細動器）の使用」（60.3%）が約6割で最も高く、次いで「止血」（55.5%）、「心臓マッサージ（胸骨圧迫）」（53.3%）、「食べ物などがのどに詰まった場合の対処」（49.0%）、「人工呼吸」（37.3%）となっている。

②実行可能な応急手当について聞いたところ、「止血」（33.5%）が3割半ば近くで最も高く、次いで「心臓マッサージ（胸骨圧迫）」（26.9%）、「AED（自動体外式除細動器）の使用」（26.5%）、「人工呼吸」（18.1%）、「食べ物などがのどに詰まった場合の対処」（14.6%）となっている。また、「何もできない」（35.0%）は3割半ばとなっている。

【経年変化】

①身に付ける必要がある応急手当について経年による変化を見ると、平成29年度調査と比べて大きな差異は見られない。

②実行可能な応急手当について経年による変化を見ると、「何もできない」（35.0％）は平成29年度調査（32.1％）より2.9ポイント増加している。

図4-5-2 ①身に付ける必要がある応急手当－経年変化

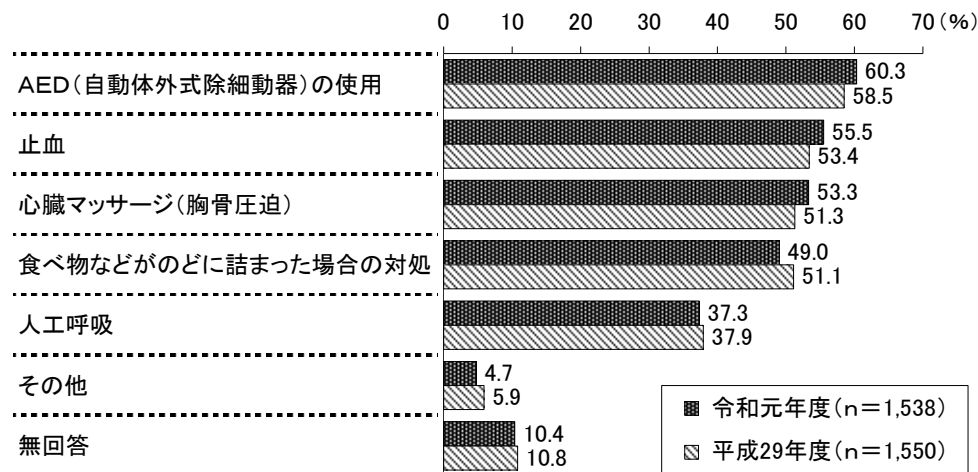
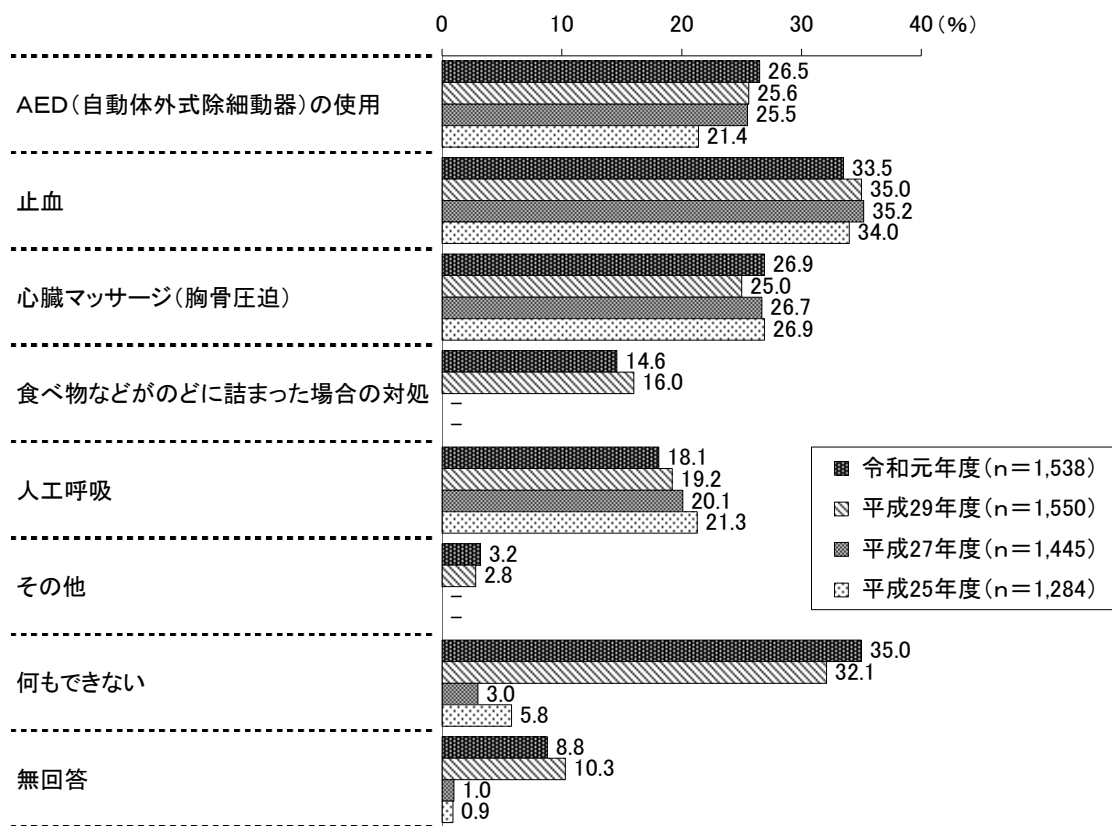


図4-5-3 ②実行可能な応急手当－経年変化



(注1) 平成29年度調査以降では、「食べ物などがのどに詰まった場合の対処」と「その他」の選択肢を追加している。

(注2) 平成27年度調査以前では、「119番に通報する」、「周囲の人に助けを求める」、「車などで近くの病院に運ぶ」の選択肢を追加していた（グラフには非表示）。

【属性別】

①身に付ける必要がある応急手当について性別で見ると、女性では「食べ物などがのどに詰まった場合の対処」(52.3%)が男性(44.7%)より7.6ポイント高くなっている。一方、男性では「人工呼吸」(40.8%)が女性(34.4%)より6.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「AED(自動体外式除細動器)の使用」は30～39歳(70.9%)と40～49歳(73.5%)が7割台と高くなっている。「止血」は20歳未満(85.7%)が8割半ばと高くなっている。「心臓マッサージ(胸骨圧迫)」は20歳未満(81.0%)が8割を超えて高くなっている。

②実行可能な応急手当について性別で見ると、男性では「人工呼吸」(23.0%)が女性(14.0%)より9.0ポイント、「心臓マッサージ(胸骨圧迫)」(31.7%)が女性(22.9%)より8.8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「AED(自動体外式除細動器)の使用」は20歳未満(57.1%)が5割半ばを超えて高くなっている。「心臓マッサージ(胸骨圧迫)」は20歳未満(42.9%)と20～29歳(44.6%)が4割台と高くなっている。「食べ物などがのどに詰まった場合の対処」は30～39歳(22.9%)が2割半ば近くと高くなっている。「人工呼吸」は30～39歳(31.3%)が3割を超えて高くなっている。

表4-5-1 ①身に付ける必要がある応急手当②実行可能な応急手当一性別、年齢別

(%)

		n	①身に付ける必要がある応急手当							②実行可能な応急手当							
			AED （自動体外式除細動器） の使用	止血	心臓 マッ サージ （胸骨圧迫）	食 べ 物 な ど が の ど に 詰 ま っ た 場 合 の 対 処	人 工 呼 吸	そ の 他	無 回 答	AED （自動体外式除細動器） の使用	止血	心臓 マッ サージ （胸骨圧迫）	食 べ 物 な ど が の ど に 詰 ま っ た 場 合 の 対 処	人 工 呼 吸	そ の 他	何 も で き な い	無 回 答
全 体		1,538	60.3	55.5	53.3	49.0	37.3	4.7	10.4	26.5	33.5	26.9	14.6	18.1	3.2	35.0	8.8
性別	男 性	682	59.8	54.4	52.5	44.7	40.8	5.0	9.4	29.3	30.9	31.7	11.7	23.0	3.1	34.9	7.0
	女 性	837	60.9	56.2	53.9	52.3	34.4	4.3	11.5	24.5	35.6	22.9	17.0	14.0	3.2	34.9	10.4
年 齢 別	20 歳 未 満	21	66.7	85.7	81.0	47.6	47.6	4.8	-	57.1	42.9	42.9	9.5	28.6	9.5	19.0	4.8
	20 ～ 29 歳	92	65.2	71.7	52.2	52.2	40.2	13.0	7.6	48.9	31.5	44.6	10.9	26.1	2.2	34.8	4.3
	30 ～ 39 歳	179	70.9	60.3	58.1	54.2	41.3	7.8	7.8	33.5	36.3	35.2	22.9	31.3	3.4	26.8	3.9
	40 ～ 49 歳	264	73.5	60.6	62.1	50.4	33.7	5.7	4.5	33.0	34.5	30.3	17.0	18.2	3.8	40.9	3.0
	50 ～ 59 歳	218	69.7	61.0	59.6	54.1	38.1	2.3	6.4	30.3	33.5	27.1	13.8	13.8	2.8	38.1	5.0
	60 ～ 69 歳	321	59.2	53.9	55.8	46.4	40.8	4.0	9.3	27.7	32.7	26.5	13.7	19.9	3.7	34.6	6.5
	70 ～ 79 歳	309	47.9	48.5	44.3	44.7	37.2	2.3	14.6	12.3	35.3	19.1	12.0	11.3	1.9	32.0	17.2
	80 歳 以 上	128	30.5	32.8	28.9	45.3	25.0	3.9	29.7	7.0	23.4	11.7	11.7	10.2	3.9	41.4	24.2